

1. 奈良県十津川村史の歴史資料調査

藤岡 春那

1. 十津川村史編さん事業

文化情報学研究室では、奈良県吉野郡十津川村の村史編さん事業の一環として、2017年度から十津川村に伝来している古文書をはじめとした、歴史資料の調査と整理をおこなっている。この村史編さん事業には、歴史学科から歴史部会近世史担当として、東昇(部会長)、水谷友紀(部会員)が参加している。

2. 玉置神社文書調査

調査は十津川村教育委員会の南隆哲氏、藤重季恵氏の協力のもと、2019年9月21～24日に実施した。十津川村の玉置神社、十津川村歴史民俗資料館で実施し、神社内の宝物庫などから、資料を搬出し、主に近世・近代文書を取り出し、撮影をおこなった(写真1・2)。調査参加者は、東昇(教員)、松浦智博(博士後期課程)、水野拓也、有賀陽平(以上、博士前期課程)、窪田竜也、竹河果穂、橋本空、藤岡春那(以上、3回生)、安部萌花、正瑞千幸(以上、2回生)。また調査期間中の9月23日に歴史報告・交流会「玉置神社と十津川年代記―聖護院宮の入峯と接待―」と題して、東昇による講演がおこなわれた。

3. 十津川村の資料調査

2019年度は、玉置神社調査の他、村外資料の調査(京都府相楽郡精華町所在)、置村130周年記念誌のコラム作成、資料編の候補選定等の調査を実施した。京都府立大学内では、画像による文書目録、翻刻作成、翻刻資料をテキストデータへ変換する作業をおこなっている。



写真1 玉置神社



写真2 玉置神社文書調査